



議会だより



No. 153

令和3年
6月定例会

まじい

新型コロナウイルス
「ワクチン接種」始まる

6月定例会審議結果……………	2～3
4月臨時会審議結果、研修……………	4
一般質問……………	5～9
意見書……………	9
常任委員会活動……………	10～11

6月定例会

直井睦氏が副議長に就任

令和3年第17回定例会は、6月1日から3日までの3日間の会期で行いました。

条例の一部改正3件、補正予算1件、陳情2件、意見書2件のほか人事案件等を審議し、原案どおり可決しました。

直井睦氏が副議長に就任



副議長

選挙

●副議長の選挙

6月2日付け小島富子氏の副議長辞職により副議長選挙を行った結果、直井睦氏が当選しました。



組合議員・委員会委員の変更

- 芳賀地区広域行政事務組合の議会議員の補欠選挙
- 芳賀郡中部環境衛生事務組合の議会議員の補欠選挙
- 芳賀中部上水道企業団の議会議員の補欠選挙

小島富子氏の副議長辞職により当該議員が欠員となったため補欠選挙を行った結果、全てにおいて直井睦氏を選出しました。

また、芳賀中部上水道企業団の議会議員には総務産業常任委員長になった日渡守氏も選出されました。

条例の改正

- 益子町国民健康保険条例の一部改正
- 益子町国民健康保険条例の一部改正
- 益子町介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響で収入減となった被保険者の保険料について減免対象期間を1年間延長するものです。

報告

●令和2年度繰越明許費

繰越額は一般会計で2億6千73万9千円、公共下水道事業特別会計で1億8千290万8千円です。

主な事業は、農村地域防災減災事業、緊急経済対策金事業等支援、下水処理場建設事業です。

●株式会社ましこカンパニーの経営状況

令和2年度の来場者数は70万人、売上は6億5千360万円でした。

この度、議員各位のご推挙を賜り、副議長の要職に就任させていただくこととなりました。微力ながら補佐役として星野議長をお支えし、公正かつ円滑な議会運営を心がけ、誠心誠意職責を全うしてまいります。

昨年から続くコロナ禍の影響により、日常のくらしにおいてこれまで以上の福祉向上が求められる中、改めて町民の意思を町政に反映させる住

民本位の議会となることを意識し、多様化する町民の負託にきめ細やかに応えることが肝要であると考えます。

また、今年度より「第3期ましこ未来計画」が実施されており、行政、町民とともに協働体制を整え、さらに町民皆様の目線に立ち、忘己利他の精神をもって行政課題に取り組んでまいります。

昨今、地方自治体には行政権限が移譲、拡大される一方、

益子町議会副議長 直井睦

地方議会を取り巻く環境も大きく変化しております。二元代表制の一翼を担う議会として、「議会基本条例」を基に従前から継続してきた議会改革をさらに実行し、より町民に寄り添い、開かれた益子町議会となれるよう鋭意努力してまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願いたします。

益子町議会委員会条例第3条の規定に基づき、

議会の各委員会等の構成が変わりました！

芳賀地区広域行政事務組合議会議員

星野 壽 男
直井 睦

芳賀郡中部環境衛生事務組合議会議員

星野 壽 男
直井 睦

芳賀中部上水道企業団議会議員

星野 壽 男
直井 睦
日渡 守

監査委員 廣田 茂十郎

《広報広聴常任委員会》
○委員長 小島 久之
○副委員長 大内 千嘉夫
○委員 長高岩 関大 岡橋崎 内島 景家秀 絹千 介光樹 江夫

《議会運営委員会》
○委員長 加藤 芳男
○副委員長 岩崎 秀樹
○委員 小高日 大岩加 島橋渡 関崎藤 富家 秀芳 子光守 保樹男

《総務産業常任委員会》
○委員長 日渡 守
○副委員長 小島 久之
○委員 関小島 絹江 諸野田 秀之 星野 壽男 高橋 茂十郎 廣田 富子

《教育厚生常任委員会》
○委員長 大関 保
○副委員長 小野澤 則子
○委員 大内 千嘉夫 直井 睦 岩崎 秀樹 加藤 芳男 長岡 景介 高橋 正則

令和3年度 補正予算

令和3年度6月補正予算は全員賛成により可決されました。

会計区分	補正前の額	6月補正予算額	合計
一般会計	81億7,383.2万円	4,439.6万円	82億1,822.8万円

【補正予算の主な内容】

- ・子育て世帯生活支援特別給付金（住民税非課税世帯が対象） **1,870万円**（健康福祉課）
- ・七井中外壁改修工事 **149万円**（学校教育課）
- ・コミュニティ助成事業（東田井・北中自治会、移動図書館車両購入） **1,445万円**（生涯学習課）

陳情

●国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情
（令和2年陳情第3号）

◇審議結果【採択】
（全員賛成）

栃木県内の自治体では既に実施しているが、全ての都道府県において、妊産婦が費用の心配なく医療が受けられることが不可欠であると考え、意見書を追加審議し、国に提出しました。

●核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の提出を求める陳情
（令和3年陳情第1号）

◇審議結果【採択】
（全員賛成）

国民、市民の生命と財産を脅かすことなく、安全安心な暮らしを守るため、さらに、唯一の戦争被爆国として人道的な立場からも核兵器全面禁止・廃絶のために真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に署名、批准することを強く求める。
意見書を追加審議し、国に提出しました。

新型コロナウイルス

4月臨時会

ワクチン接種体制拡充

令和3年第16回臨時会が4月30日に開かれ、契約1件、補正予算1件、などを審議し原案どおり可決しました。

専決処分の承認

● 益子町税条例等の一部を改正する条例（全員賛成）
 地方税法等が改正されたことによるものです。

契約

● 益子町南運動公園陸上競技場芝生張替え工事請負契約（全員賛成）
 6者による一般競争入札で
 ◇ 栃木県芳賀郡益子町益子株式会社石塚土建
 が落札し、「6千930万円」の契約について議決しました。

基本協定の締結

● 益子町益子浄化センター建設工事（汚泥処理設備増設）委託に関する基本協定の締結（全員賛成）
 「2億9千8百万円」をもって、
 東京都文京区湯島二丁目日本下水道事業団と協定を締結することを議決しました。

令和3年度 補正予算

令和3年度4月補正予算は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	4月補正予算額	合計
一般会計	80億円	1億7,383.2万円	81億7,383.2万円

【補正予算の主な内容】

- ・ 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業 **7,927万円**
- ・ 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制確保事業 **2,124万円**
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種率アップ支援事業 **2,800万円**
- ・ プレミアム商品券発行事業補助金 **1,119万円**
- ・ 図書システム導入 **1,155万円**

ワクチン接種すると、1回につき1,000マッシュもらえます！



※個別医療機関等で接種した場合はクーポン券（予防接種済証の記載のあるもの）を保健センターにお持ちください。（交換日は保健センターにお問い合わせください）



グループワークの様子

「人口減少対策」について研修会を開催

7月5日、益子駅舎多目的ホールにおいて、神奈川大学法学部准教授の諸坂佐利氏を講師に迎え、「人口減少対策」について研修を行いました。グループワークでは、益子町や他市町の少子化対策をリサーチ、検討した内容をグループごとに発表しました。各グループでの発表後、他のグループが発表内容を批判的に分析し意見するといったスタイルを行い、活発に意見が飛び交いました。

一般質問 7名の議員が登壇！

※議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

諸田 秀之 議員（6ページ）

- 1 高齢者への情報格差問題について
- 2 改正動物愛護管理法対応について
- 3 デジタル教材について

日渡 守 議員（6ページ）

- 1 新型コロナウイルス禍を収束させるための方策について
- 2 新型コロナウイルス禍第4波の時下、実施予定のイベントについて
- 3 新型コロナウイルス禍2年目を迎えた児童・生徒の学校・家庭における諸問題について

高橋 家光 議員（7ページ）

- 1 今後の誘客事業について
- 2 歳入について
- 3 コロナ禍における益子町の景気動向について
- 4 教育のICT化について

岩崎 秀樹 議員（7ページ）

- 1 町内循環型経済の仕組みづくりについて
- 2 町民の皆様への広報活動について

関 絹江 議員（8ページ）

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 2 ふれあいサロンについて
- 3 コロナ禍における各種イベントについて

大関 保 議員（8ページ）

- 1 新型コロナ感染症対策について
- 2 図書館建設について
- 3 道路整備について

直井 睦 議員（9ページ）

- 1 第3期ましこ未来計画について



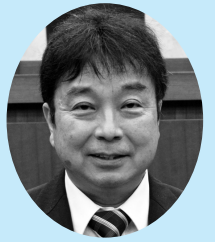
※質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内としていますが、今回も3月定例会に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、40分以内で行いました。

町議会ホームページから会議録がご覧いただけます。

益子町議会会議録

検索

一般質問の映像DVDを中央公民館図書室で貸出していますのでご利用ください。



諸田 秀之 議員

高齢者への情報格差問題について

質問 デジタル社会での高齢者が置かれた状況はどう考えるのか。

町長 インターネットやパソコンの利用できる方とそうでない方との間の格差は増大し、高齢者に限らず障害者や低所得世帯等も含め社会的な弱者において、特に顕著であり今後検討すべき課題と考えております。

質問 デジタルサービスに不慣れた高齢者に対しどう支援されるのか。

町長 不慣れた高齢者に対する支援につきましても、不慣れた方もいらっしゃる点を考慮し、今回のコロナワクチン集団接種の申込みは、電話での受付としマイナンバーカード申請は電話、窓口相談も対応します。
質問 高齢者が情報共有するにはどうすればよいかお伺いします。

町長 高齢者の皆様が情報共有する為の方策ですが、現在自治会の回覧物はデジタル化を進めているところですが、不慣れた高齢者の方も情報共有されるよう広報ましこやお知らせ版等、従来の紙媒体の活用も並

行して行い、引き続き情報格差が生じないよう努めます。

改正動物愛護管理法対応について

質問 動物虐待が増え、罰則強化されているが、益子町はどう考えるか。

町長 人と動物の共生する社会の実現を図る為に法改正がなされ、動物所有者の責務規定の明確化や虐待に対する罰則の引き上げがされました。虐待の事案が発覚の際には、栃木県動物愛護指導センター及び警察と連携をし、現法律の規定に基づき適正かつ厳正に対処をしていきたいと考えております。

質問 被災時を想定した適正飼養の普及啓発は今後考えているのか。

町長 平常時から適正飼養の普及啓発が重要と考えており、引き続き広報紙やホームページなどで定期的な重要性の周知を図って参ります。

質問 数値の厳格化で行き場のない犬、猫の命が心配されます。昨年コロナ禍においてはペットブームだそうです。しかしながら町外では飼育放棄が相次いで現実が始まっており、里山などに捨てられるなど懸念されますが、町は現在想定されているか。

環境課長 町内に遺棄された場合には捕獲して、しかるべき手続を取っていきたいと考えております。



日渡 守 議員

新型コロナウイルスを収束させるための方策について

質問 今後のワクチン接種予定はどのようになっているか。

町長 高齢者のワクチン接種は5月6日に開始し、週に3〜4回のペースで集団接種を行っている。6月1日の時点では993人が1回目の接種を終了し、現在2回目の接種をしている。今後のワクチン接種については、7月末までに65歳以上の接種希望者の接種を終了し、その後基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者を含む一般の方の接種へと対象を広げる予定。ワクチン接種完了の時期については、可能な限り早期の完了を目指していく。

新型コロナウイルス禍第4波の時下、実施予定のイベントについて

質問 益子×セントアイヴス100年祭に関する町内での企画イベントの内容はどのようなものか。

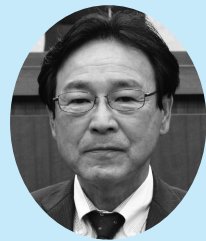
町長 益子×セントアイヴス100年祭事業については、6月12日から9月12日までの期間で開催する。

町内での主立った企画イベントは、益子陶芸美術館でのバーナード・リーチ展や道の駅ましこでのパネル展、9月11日と12日に陶芸メッセと益子参考館でましこ市を予定している。全てのイベントにおいて感染症対策を十分に行い、直近の状況を踏まえた上で実施の可否を決定する。

質問 益子町でも感染者が漸増する中、土祭をあえて実施する根本理念は何か。

町長 土祭について、目的や理念については広報ましこの5月号でお知らせしている。開催する背景については一つ目に、新型コロナウイルスの影響により令和2年の観光客入り込み数が4割減、宿泊者数が半減し、至急の経済対策が必要であること。

二つ目に、観光を基幹産業にするため観光戦略を策定し、その柱の一つとして観光スタイルのシフトを掲げて滞在型・日常型観光に向けたライフスタイルのMDを行うこととしている。今回の土祭は、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた経済対策として、また観光スタイルのシフトを促す機会としてその効果を発揮し、将来にわたって益子町経済の底上げをするという大きな意味と使命を持って取り組んでいく。ただし、開催に当たっては国や県が示すガイドラインに基づき実施する。



高橋 家光 議員

今後の誘客事業について

質問 アフターコロナに向けてどのような取組を考えているか。

町長 今後はDMO法人ましろが中心に通過型観光から滞在型観光に向け取り組む。

質問 誘客の対象は誰なのか。

町長 モノ消費と併せてコト消費を促進するため、自然や歴史・文化を通し、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口、益子ファンになり得る方々と考える。

質問 異業種との連携の考え方は。

町長 観光戦略ビジョンの一つにネットワークづくりがある。第3期ましこ未来計画では基幹産業化でグリーンツーリズム推進を掲げている。農業体験は比較的三密を避けやすく、コロナ禍の誘客事業に適していると考えている。

歳入について

質問 税外収入の確保に向けた取組をどのように考えているか。

町長 町の創意工夫で増加させることは可能と考える。ふるさと納税

についても、独自のより魅力的な返礼品の確保に努めながら、寄附の確保の増加を目指していく。今年度の目標額7400万円を達成するため、高額返礼品の提案など、返礼品の充実を行っていく。

コロナ禍における

益子町の景気動向について

質問 町の制度融資件数、金利等の個人負担はどのくらいか。

町長 町の中小企業振興資金制度の利用は、設備・運転資金を合せて19件、総額4805万円である。

観光商工課長 金利補助は、町・商工会で各0.5%で、個人負担としては、返済期間の違いにより0.4〜0.6%となる。その他に、保険協会に支払った信用保険料の2分の1が個人負担となる。

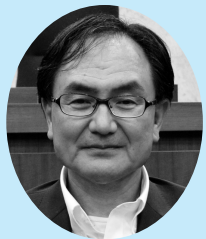
意見 据置き期間後の返済が重荷にならぬよう対策を望む。

教育のICT化について

質問 デジタル教科書導入の予定は。

教育長 今のところ予定していない。

意見 デジタル教科書の導入に乗り遅れない検討を望む。



岩崎 秀樹 議員

町民の皆様への広報活動について

質問 町の広報活動の基本スタンスはどのようになっていくのか。

町長 まちづくり基本条例の「町はまちづくりに必要な情報を町民に提供し、共有しなければならぬ」との規定に基づき、情報発信をしている。広報誌は町政情報を身近なものとし、お知らせ版やホームページは最新の情報を早く、分かり易く、防災無線は緊急性のある情報の発信が基本。

質問 昨年のゴールデンウィークに休業補償10万円があったが、私のところにいるいろいろなお店の方から問い合わせがあった。こういうことがお店の方に伝わらないのは広報として問題ではないか。

総務課長 県の期間とか、町の期間も延びたりとか、防災無線では言葉だけなので、詳細までお知らせするのが、難しい面もあった。

質問 年初の新型コロナ感染防止の営業時短協力金も知らないお店が複数あった。広報のあり方をもう少し

し考えなければと思うが。

町長 昨年のゴールデンウィーク時は本当に急遽だった。なかなか伝えづらい面もあったのでどうしても個別のやり取りになってしまった。可能な限り役場も情報網を使ってやっているが、もし漏れがあれば、助言を頂ければありがたい。

質問 前回の土祭の時、「協働のまちづくり」ということで全員が無償のボランティアで参加しているのかと思つたら、なんで有償と無償がいるのだ。」とお叱りを受けた。参加者へのお伝えの仕方はどのようにしたのか。

観光商工課長 ボランティアに、無償、有償の方もいるということの把握が、ちよつと漏れているかもしれない。

意見 先ほどの町長答弁のまちづくり基本条例にある『情報の共有』とか、『説明責任』は非常に大切だと思う。広報と宣伝は違うので、広報ましこにあるように『パブリックリレーションズ』ということで、町民の皆様と町との良好な関係を築いていくための広報であつて頂きたい。今回の質問をした。広報活動の目的は町民の皆様と行政の良好な関係づくりにある。そこから真の協働が生まれ、幸せな共同体ましが構築される事を祈念し、今回の質問を終了する。



関 絹江 議員

新型コロナウイルス ワクチン接種について

質 問 七井地区に新たに会場を設置する予定はないのですか。

町 長 体育館などの広いスペースが取れる場所は一般の利用者が多く設備を整えた接種会場として長期間使用することが困難であり、現在のところ設置の計画はございません。

ふれあいサロンについて

質 問 各ふれあいサロンに月三千円の補助金が出ていますが、個人宅利用の場合、近年の猛暑、酷暑による冷房代や冬場の暖房にかかる灯油代など、お金の負担が大きいのと思うので、冷房費、暖房費として少し増額はできないでしょうか。

民生部長 サロンの運営は補助金と会費で行っている。また多くのボランティアの方々の方々の協力で運営しているので今のところは現在のままでお願いしたい。今後要望とが出てきたら、そういう声も考慮しながら検討していきたいと考えております。

コロナ禍における各種イベントについて

質 問 今年度企画している大きなイベントが幾つかありますが、コロナ感染者が増加する中、実施についてどう考えるのか。

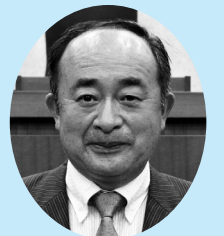
町 長 今年度町内で開催するイベント等につきましては、開催時の警戒度レベルに応じて実施をいたします。また、県が示しているイベント開催時の必要な感染防止策及び各イベントの類型ごとに定められた要件に沿った対応をしております。

質 問 「今年くらいは全部やめたほうがよかったのではないですか」という声が私のほうに届くのですが、町としての考えはどうですか。

町 長 安全が最優先であります。町民の皆様が経済活動も安全にしてもらえる環境づくりをしていくということが使命だと考えています。

質 問 土祭については、何のお祭りか分からないという声が多く、夕焼けパー等の事業に税金を使ってほしくないという声が多数あります。今後コロナ感染者が増えても続けるおつもりですか。

町 長 感染レベルに応じてこの企画はやるかやらないかという一覧表も示しておりますので、感染状況に応じていろいろ行なっていく。



大関 保 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

質 問 町職員が罹患した場合は。

町 長 業務継続計画に基づき対応し、業務への影響を最小限にするよう努める。

質 問 キャンセルなどで余ったワクチンについてはキャンセル待ちの方へ連絡し対応しているとのことだが、今後どうしても余ってしまった場合、ワクチンを無駄にしないためにも、町民へ事前に説明した上で町長と町の幹部職員に接種することを検討してはどうか。

町 長 万が一余った時の優先順位については、コロナ対策本部の中で方向性を決めていきたい。

図書館建設について

質 問 図書館の具体的な建設場所は、いつ決定するのか。

町 長 区画整理事業の仮換地指定により、秋に案を組合員に提示するが確定の時期は令和4年度になる。

質 問 現在の蔵書数及び予算は。

教育長 合計33973冊で、蔵書費合計195万円です。

質 問 蔵書費予算は少なくないか。篤志寄付など蔵書増を検討しては。

教育長 現在の図書室の広さでは本を置く場所が足りない状況である。今後図書の充実のため、蔵書を増やす方向性を見出していく。

質 問 導入予定の図書システムはどのようなものか。タグなど建設予定の図書館に継承できるか。

教育長 ネット上で蔵書情報が見られ、検索や貸出予約が可能となる。

生涯学習課長 システムはそのまま使用し、タグも使用できる。

質 問 図書館の土地建物の規模は。生涯学習課長 図書館の土地五千㎡、建物千五百㎡を想定している。

道路整備について

質 問 第3期ましこ未来計画の景観に配慮した周遊道路づくりとは具体的にどのような整備方法か。

町 長 コンクリート構造物を使用しない法面工法や景観色ガードレールや舗装などの検討をした上で実施。

質 問 現在の道路予算は少ない気がするがどう考えているか。

町 長 道路要望については町内各地から要望を頂戴しているが、補助の付きが悪くなっている。国・県への要望を強め、優先順位を公平に鑑みていきながらやっていきたい。



直井 睦 議員

「第3期ましこ未来計画」が
令和3年4月よりスタート!!

質問 新たな益子町の総合振興計画、第3期ましこ未来計画が本年4月より5ヶ年計画で実施されています。前計画の実施状況、重要業績評価指数(KPI)の実績をどのように総括し、本計画に反映させますか。

町長 前計画の令和元年度までの検証に加え、令和2年度中の事業進捗状況等を勘案した上で反映させましたが、KPI達成については、コロナ禍により大きな影響を受け、大変厳しいものとなりました。第3期計画実施におけるPDCAサイクルの中で前計画の実施結果を反映させるとともに、前計画の成果指標やKPIの達成状況並びに町民アンケートの結果公表と併せて総括をしたいと考えています。

質問 本計画の推進にあたり、町民等の計画に対する認識並びに意識の向上をどのように図られますか。

町長 計画策定の段階で外部に委託することなく、検討委員会や報告会等、町民との協働により取り組ん

できました。計画の概要版を4月に自治会を通して配布しており、今後はコロナ禍を考慮して広報紙等で計画内容を町民等と共有してまいります。なお、新たな取り組みとして、地域住民が主体となり地域づくりに取り組む地区別戦略の策定を予定しており、この動きの中で町民の本計画に対する認識や意識の向上を浸透させていきたいと考えています。

質問 計画の優先目標や成果指標を達成するための施策は、どのように実施されますか。

町長 計画の目的「ましこならでは」の価値をつくり、現状の人口減少傾向から「逆転の時代」をつくるの実現に向け、既存の事業費をゼロベースで見直し、優先目標達成に資する事業に予算を優先的に配分する等の予算編成を行い、選択と集中により施策の実施に努めます。

質問 計画の実効性を高め、有効な成果項目を捉えることが重要となるが、どのようにマネジメント体制を構築していく考えでしょうか。

町長 合計特殊出生率や若年世代の移住者の増加等、最上位となる目標の数値達成には、地域を取り込んだ協働体制の構築が重要となります。地区別戦略の策定を機に地域とともに行うマネジメント体制を構築してまいりたいと考えています。

意見書

議員発議 国による「妊産婦医療費助成制度」創設を求める意見書 (全員賛成)
日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書 (全員賛成)

国による「妊産婦医療費助成制度」創設を求める意見書

2018年12月14日「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律」(成育基本法)が公布された。

成育基本法は、「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策を総合的に推進する」ことを目的に掲げ、「社会的経済的状況にかかわらず安心して次代の社会を担う子どもを生み、育てることができる環境が整備されるように推進」することを基本理念としています。

また、国は「成育医療等の提供に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する」とし、自治体は「国との連携を図りつつ、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」としています。

多くの自治体で旧「妊娠中毒症等療養援護」と同様の制度があるが、疾患や受診科目による制限のない「妊産婦医療費助成制度」は13道県157市町村の実施にとどまっている。

成育基本法を契りあるものにするためには、住んでいる自治体による差をなくし、妊産婦(母子保健法第6条で妊娠中又は出産後一年以内の女子と規定)について費用の心配なく医療が受けられるようにすることが不可欠である。

よって、国におかれては、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要請する。

記

一、疾患や受診科目による制限のない妊産婦に対する医療費助成制度を国の制度として早期に実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

栃木県益子町議会議長 星野 壽 男

《提出先》
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣

日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書

先の大戦において広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た2017年7月7日、国連総会において歴史的な核兵器禁止条約が採択されました。核兵器は破壊的な結末をもたらす非人道的な兵器であり、国連憲章、国際法、国際人道法、国際人権法に反するものであると条約で解釈され、歴史上初めて核兵器が国際条約によって違法なものとなりました。

条約は、開発、生産、実験、製造、取得、貯蔵、使用とその威嚇に至るまで、核兵器に関わるあらゆる活動を禁止するものとなっています。さらに、核保有国の条約への参加の道を規定するなど、核兵器撤廃への枠組みを示すと同時に、被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記され、被爆国、被爆国の国民の切望に応えるものとなっています。

このように、核兵器禁止条約は、被爆者とともに私たち日本国民が長年にわたり熱望してきた核兵器撤廃につながる画期的なものです。

2017年9月20日、核兵器禁止条約への署名・批准が開始されて以降、国際政治や各国でも、前向きな変化が生まれ、条約調印国が世界中に広まり、2020年10月に発効に必要な50カ国の批准に達し、これにより核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効されています。

私たち益子町議会は、国民、町民の生命と財産を脅かすことなく、安全安心な暮らしを守るため、さらに、日本政府は、唯一の戦争被爆国として人道的な立場からも核兵器全面禁止・廃絶のために真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に署名、批准することを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

栃木県益子町議会議長 星野 壽 男

《提出先》
内閣総理大臣
外務大臣

総務産業
常任委員会

4項目

- 新ましこ未来計画検証及び
第3期ましこ未来計画のKPI (4/28)
- 令和3年度各課重点事業 (5/28)
- 地区別戦略 (6/30)
- 若年世代の移住定住 (6/30)

●令和3年度各課重点事業

て世代向けの定住促進住宅の検討等、20～30代の若年世代を重点的に支援する。

●【審議結果及び改善意見】総務課

職員の採用事務と人事管理については、策定した職員定員管理計画に基づき募集、採用を実施することとしている。

なお、計画は年度毎に精査し、適正な配置と健康管理を行う。採用に関しては、技術系の職員を確保するため、職員の資格取得の推進、民間からの再雇用等を検討されたい。

職員の配置においては、働き方改革の観点から適正数の確保と、WEB会議等を含むテレワークの推進を図られたい。

今年度の地区防災計画策定支援は生田目自治会を予定している。併せて防災組織の形成を促進させ、自主防災組織の組織率向上を図られたい。

●企画課

移住定住策については、従来の住まいづくり奨励金や空き家、空き地バンク及びお試し住宅の運営に加え、若年子育て世帯家賃補助金の創設、民間企業との連携による子育て世代向けの定住促進住宅の

家賃補助金制度は、子育て世代に年間24万円、2年間を限度に給付する。また、制度利用者には10年間定住の確約書の提出義務を付随する。中部環境衛生事務組合隣接地（七井台町）を定住促進住宅地造成として検討している。

デマンドタクシーの運行、真岡鉄道への支援は、4月に議員会で懸案事項である他市町へのデマンドタクシー乗り入れについて、芳賀赤十字病院へのアクセス状況を検証の上、実証したが、交通費用や各車両のバリアフリー化等、課題はあるものの利用促進に向け、広報でのPRの必要性、運賃補助等の検討を図られたい。

課題はあるものの利用促進に向け、広報でのPRの必要性、運賃補助等の検討を図られたい。

課題はあるものの利用促進に向け、広報でのPRの必要性、運賃補助等の検討を図られたい。

課題はあるものの利用促進に向け、広報でのPRの必要性、運賃補助等の検討を図られたい。

●税務課

コロナ禍に係る軽減対応として、固定資産税の軽減（申請済み93件、約3,900万円）、国民健康保険税の減免を実施する。なお、減収相当額は、国費により補填される。納付方法として一部電子決

済を取り扱っているが、納税者の利便性向上を図るため、クレジットカード決済等選択肢の多様化を図られたい。

●農政課

農と食のまちづくり推進を図るため、農と食のプロジェクト事業として、新規就農者担い手確保に向け、「農と食の研究会」(WG)において取り組んでいる。また、別途に農業政策方針を担う農業戦略会議を設置する予定である。

新規就農者等の対応策として、農業委員会で農地売買5反歩から3反歩への緩和を行っていている。農地付き空き家対策として、新規就農移住希望者に対応するため企画課と更なる連携を図られたい。

新規就農者等の対応策として、農業委員会で農地売買5反歩から3反歩への緩和を行っていている。農地付き空き家対策として、新規就農移住希望者に対応するため企画課と更なる連携を図られたい。

●観光商工課

チャレンジショップの整備事業は、9月改修工事完了後に10月貸し出し見込みである。借り手については、8月に募集して9月までに決定を予定している。改修工事においては、専門的知見のある設計業者等を選定し、設備配置の不備、不具合等が生じないよう

注視されたい。

5月22日より開催されている土祭については、感染症対策を万全に施し、密にならないよう動画配信等も活用して実施する。

●建設課

本年度に空き家等対策協議会を設置し、年度内に空き家等対策計画の策定予定である。また、都市計画事業に伴う立地適正化計画を2ヶ年で策定する。立地適正化計画策定においては、商業地、宅地誘導等による地域間の隔たり等、極力影響を及ぼすことがないよう配慮の上、策定されたい。

本年度に空き家等対策協議会を設置し、年度内に空き家等対策計画の策定予定である。また、都市計画事業に伴う立地適正化計画を2ヶ年で策定する。立地適正化計画策定においては、商業地、宅地誘導等による地域間の隔たり等、極力影響を及ぼすことがないよう配慮の上、策定されたい。

本年度に空き家等対策協議会を設置し、年度内に空き家等対策計画の策定予定である。また、都市計画事業に伴う立地適正化計画を2ヶ年で策定する。立地適正化計画策定においては、商業地、宅地誘導等による地域間の隔たり等、極力影響を及ぼすことがないよう配慮の上、策定されたい。

本年度に空き家等対策協議会を設置し、年度内に空き家等対策計画の策定予定である。また、都市計画事業に伴う立地適正化計画を2ヶ年で策定する。立地適正化計画策定においては、商業地、宅地誘導等による地域間の隔たり等、極力影響を及ぼすことがないよう配慮の上、策定されたい。

本年度に空き家等対策協議会を設置し、年度内に空き家等対策計画の策定予定である。また、都市計画事業に伴う立地適正化計画を2ヶ年で策定する。立地適正化計画策定においては、商業地、宅地誘導等による地域間の隔たり等、極力影響を及ぼすことがないよう配慮の上、策定されたい。

本年度に空き家等対策協議会を設置し、年度内に空き家等対策計画の策定予定である。また、都市計画事業に伴う立地適正化計画を2ヶ年で策定する。立地適正化計画策定においては、商業地、宅地誘導等による地域間の隔たり等、極力影響を及ぼすことがないよう配慮の上、策定されたい。

本年度に空き家等対策協議会を設置し、年度内に空き家等対策計画の策定予定である。また、都市計画事業に伴う立地適正化計画を2ヶ年で策定する。立地適正化計画策定においては、商業地、宅地誘導等による地域間の隔たり等、極力影響を及ぼすことがないよう配慮の上、策定されたい。

教育厚生 常任委員会

5項目

- 新ましこ未来計画検証
及び第3期ましこ未来計画のKPI (4/28)
- 令和3年度各課重点事業 (5/28)
- 体育施設の現状と課題 (6/30)
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (6/30)
- 図書館基本計画策定 (4/28、5/28、6/30)

●令和3年度各課重点事業

【審議結果及び改善意見】

●住民課

マイナンバーカードについて、未申請者にQRコード付の申請書を送付後、交付枚数が大幅に増加し、4月末時点で5196枚となった。さらに国の情報を得ながら利用可能な範囲を町民に周知し、交付率の増加に繋げていく。

マイナンバーカードの使用を利便的・効率的とするため、マイナンバーカードの登録率の向上と同時に、各種機関にマイナンバーカードに対応する機械の設置について国と連携し推進されたい。

●環境課

町有林の維持管理について、前沢、赤法花、北峰町有林の下草刈り等約34ヘクタールを予定している。

資源回収事業については、エコ土曜日として偶数月の第2土曜日午前中に資源ごみの一斉回収を実施している。

町有林の維持管理事業や里山林整備事業は、自然災害の防止・景観の維持・獣害防止

等多方面にわたって有効であるので、計画的・継続的に実施されたい。

●健康福祉課

年間出生数100人を目指し、子育て応援手当の支給、保育料無償化事業、少子化対策、婚活支援を実施していく。

また、子育て世帯の社会的支援の充実として、病児保育などの困りごとサポートの強化をしていく。

病児保育については、現在宇都宮市の済生会病院に委託しているが、時間・距離・混雑具合・安全安心を考慮に入れて病院を選定し、サポートの強化を図られたい。

●高齢者支援課

シルバー人材センターといきいきクラブの活性化として、シルバー人材センターへは新規事業創出のための支援、いきいきクラブへは新規クラブへの支援を行う。シルバー人材センターの新規事業として、今年度から生活支援サービス事業を展開していく。特別養護老人ホームの整備については、近隣市町の動向を見ながら検討していく。

益子芳星高校と包括連携協定を結び、今年度ましこ未来大学(MFC)を開講する。地域の課題解決や活性化のためのアクションプラン作成に取り組んでもらい、担い手育成に繋げていく。

ら検討していく。

団塊の世代が後期高齢者となる2025(令和7)年を見据え、日常生活支援総合事業において、ゴミ出し・買い物・清掃・調理・通院の送迎等、きめ細かなサービスを推進されたい。

●学校教育課

ICT関連については、益子中学校において試験的に使用していた校務支援システムを全ての小中学校に整備するほか、電子黒板とタブレット端末を併用した授業の支援を行なっていく。

グローバル社会で活躍できる人財育成のため、児童生徒が楽しみながら外国語に接することのできる教育環境の充実・整備に当たられたい。

●生涯学習課

益子芳星高校と包括連携協定を結び、今年度ましこ未来大学(MFC)を開講する。地域の課題解決や活性化のためのアクションプラン作成に取り組んでもらい、担い手育成に繋げていく。

い図書館システムや移動図書館を導入する予定であり、図書館基本計画については今年度策定完了を目指す。

かしましこ日本遺産活性化協議会について、令和2年度から人材育成・普及啓発事業・調査研究事業等継続して実施しているが、令和2年度の活動実績及び成果と、令和3年度の事業目標とその内容について明確に示されたい。



6/30 現地調査で南運動公園
芝生張替工事の説明を受ける様子

町民の声

高橋 秀雄さん



町民の独り言

昭和28年生まれ
生田目在住
趣味:ゴルフ、メダカ飼育
30種5,000匹飼育中

のもと自治会員総出の取組みとなつていきます。
③ 昨年「里山の会」を立ち上げ、「とちぎ元気な森づくり県民税」を活用し、里山整備活動を始めました。益子世間遺産の「生田目古墳群」と「生田目城址」の整備、保全活動を始めました。

少子化が進み、益子町の入学児童数が年々減少傾向にある事を心配しています。益子で子供を産み育てたいと思う若者を増やす施策が必要です。私達には何ができるのか？

私は、自治会会員相互の連帯感が希薄にならないように、自治会の行事に積極的に参加するようにしています。将来にわたって活力のある自治会・まちづくりの一つになると思つていま

す。

現在、世界中の国々、地方自治体において推進されているSDGs（持続可能な開発目標）この理念を踏まえ、生田目自治会での取り組みを紹介します。

① 生田目環境保全会として

「花いっぱい運動」は青壮年部が主体となり農面道路（通称・生田目花街道）に苗の植え付けから始まり、管理を行なっています。6月下旬に開花し9月下旬まで楽しめます。

近年「道の駅ましこ」への通り道で往来が多く、花を見て和んでいただければと思つています。

② 花のまちづくりにおいて「コスモス」を栽培し地域コミュニティの活性化を図っています。昨年はコロナ禍のためにイベントが中止になってしまいました。例年10ヘクタールの休耕地を利用し、集落宮農の協力

今後、生田目世間遺産と前沢町有林（展望台）を結ぶ遊歩道づくりを計画もあり、自然が織りなす里山風景を満喫できるルート構築に取り組みたいと思つています。

最後に、私が20代前半に勤めていた企業で益子町庁舎の鉄筋製作に携わる事が出来ました。

当時私は、検査課に所属し「超音波深傷検査」という非破壊検査を担当し溶接構造物の品質管理と保証を行なっていました。

益子町庁舎の鉄骨は、私が自信をもって送り出した製品です。

広報広聴 常任委員会

DVDの貸出をしています

令和2年9月定例会から一般質問の映像をDVD化し、中央公民館図書室で貸出しています。ぜひご利用ください。

「町民の声」であなたの声を！

町民の声を募集いたします。13文字×60行の中に、あなたが普段考えていること、行政に伝えたいことを書いてください。顔写真、プロフィールもお忘れなく！

郵送または議会事務局（下記のTEL）までご連絡ください。住所、氏名、電話、メールアドレスをお願いいたします。

あなたも議会を 傍聴しませんか

次回**9月2日(木)**
開会予定

本会議当日、3階議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。

※新型コロナウイルス感染症
予防対策にご協力ください。

※議会の様子は
役場1階ホールの
テレビモニターで
放映しています。

